



こしがや景観まちづくりニュースレター vol.1 越谷市景観市民懇談会 第1回開催報告

開催日時：2010年8月21日(土) 13:00～16:00
場所：越谷市役所5階会議室 当日参加者:26人

越谷市景観市民懇談会第1回開催報告

Greeting —ごあいさつ—

□景観市民懇談会とは？

平成16年に施行された景観法に基づき、越谷市は、平成21年に景観行政団体に移行しました。景観行政団体になると、景観法に基づき、景観計画の策定をはじめ、地域の特性に応じた風景を守る様々な取り組みを市が独自に行うことができます。そこで「越谷らしさ」をいかした良好な景観形成が実現できる景観計画策定に向けて、この懇談会では、ワークショップ形式により、市内の各地区の景観の将来像や景観を構成する要素のデザインの基調、実現の方策などを、住民の方々と大学生が一緒になって議論していきます。

Program —第1回プログラム—

13:00 開会のあいさつ&懇談会の説明

13:15 越谷市景観計画&本日の進め方についての説明

13:45 みんなで越谷市の地図を囲み、越谷市の「好きな風景」「改善したい風景」「気になる風景」を探りましょう。

14:25 グループで出し合った風景の発表

14:45 休憩

14:55 越谷の景観体験オスメルートについて考えよう。自慢の道、見せたい風景、好きな場所を言い合おう。

15:35 グループで出し合った景観体験ルートを発表

15:55 講評

16:00 アンケートの記入・次回案内・閉会の辞

Later —まちあるき—

後日、それぞれのグループで今回設定したルートでまち歩きを行いました！

懇談会でルート決定

実際に見て地域のイメージを共有！



楽しくも白熱した議論が交わされる会場！

Voice —地区グループごとに挙げられた地域の特徴や意見—

□グループで討論

今回は越谷の代表的な河川である元荒川や新方川といった流域を手掛かりとして、東西南北の4地区にグループを分けて少人数で話し合いを進めました。下記にはその中で挙げられた主な意見を掲載しています。意見の詳細はウラ面をご覧ください。

□北地区(桜井・大袋・大沢・北越谷)

・全体：魅力的な拠点は多く存在するけど、それらを結ぶ散策路が必要だね。

・全体：高架を越えた眺望が得にくいし、道路が東西交流の妨げになるよ。

・全体：景観計画の中心を旧日光街道にすべきでは？

・元荒川沿い：埼玉の河川と群馬の河川が並走する風景が魅力だね。

・冬に咲くキタミ草は春を感じさせるよ。



花田苑 め切橋

□西地区(荻島・出羽・越ヶ谷)



久伊豆神社 越ヶ谷御殿跡

・久伊豆神社：参道は緑も多く良いところだよ。

・万葉植物園：公園から見る山並み、夕日が美しいんだ。

・越谷駅：越谷らしさが駅に見られないよね。パチンコ屋が気になるよ。

・全体：人が集まる場所相互のネットワークに不満があるかな。

・全体：大木や屋敷林を残したい。助成金や固定資産税の考慮をしたらどうか。

Address —お問い合わせ先—

■越谷市 都市整備部 都市計画課 TEL：048-963-9221 Eメール: 10101100@city.koshigaya.saitama.jp

■日本大学理工学部 海洋建築工学科 ウォーターフロントデザイン研究室

TEL：047-469-5429 (教員: 岡田智秀 / 学生: 朽木・島田・川島・板里・瀬畑・大西・清永・馬上・平出)

■日本大学理工学部 土木工学科 都市環境デザイン研究室

TEL：03-3259-0679 (教員: 大沢昌玄 / 学生: 木村・本橋・江口・山口・田巻・小林・佐々木・田中・海野)

Announce —今後の予定—

第2回

日時：9月18日 13時～

場所：中央市民会館4階

第3回

日時：10月9日 13時～

場所：中央市民会館4階



詳細はウラ面参照！！

□東地区(新方・増林)

・大聖寺：節分と初詣に来るよ。タブの木は天然記念物で有名なんだ。

・全体：屋敷林は地域の特徴の一つ。最近は少なくなって残念だね。

・不動橋：橋辞典があるくらい各橋で工法が違い楽しめるんだ。

・元荒川沿い：鴨場の前のポプラの木がシンボリックだね。

・花田苑：桜、藤棚、紅葉のスポットになってるよ。



元荒川 田んぼ

□南地区(大相模・川柳・南越谷・蒲生)



中央市民会館 旧日光街道

・中央市民会館：筑波山や晴れの日には富士山が見えるんだよ。

・元荒川沿い：蛇行する川で橋の見え方が変わるのがいいね。

・元荒川沿い：元荒川を軸にしたまちづくりをもっとしたいな。

・旧日光街道：昔の人は買い物に来るとしたら日光街道に来ていたんだ。

・旧日光街道：蔵とか長屋があって残していきたいし、歩行者専用になりたいな。



- 01 埼玉県立大学
02 浄山寺
03 鴨場
- ★View point 1
美しい田園風景を見る視点場
- View point 3
魅力的な緑道



- 04 久伊豆神社
05 旧日光街道
06 浅間神社
07 越谷駅
08 中央市民会館
- ★View point
県民健康福祉村から見る、富士山、筑波山、夕日。

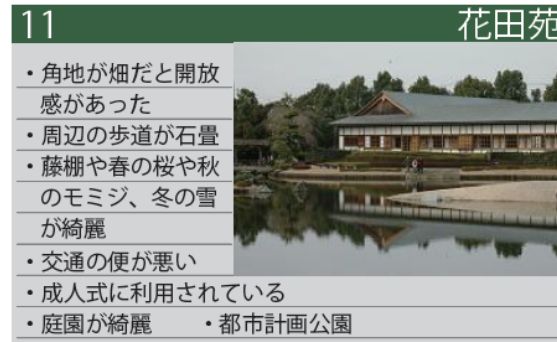


越谷駅

- ・東口＝何十億もの投資で開発が進んでいる
- ・西口＝開発が勝手に進行し計画的でない
- ・越谷らしさが駅に見られない



- 09 大吉調節池公園
10 屋敷林
11 花田苑
12 不動橋
13 リュース展望台
- ★View point
富士山、日光連山、筑波山を見る河川沿いの視点場。
- Check point
畑・屋敷林などが多く残る新興住宅街。



花田苑

- ・角地が畑だと開放感があった
- ・周辺の歩道が石畳
- ・藤棚や春の桜や秋のモミジ、冬の雪が綺麗
- ・交通の便が悪い
- ・成人式に利用されている
- ・庭園が綺麗
- ・都市計画公園



01 埼玉県立大学

- ・有名な建築物で外国人も訪れる
- ・県立埼玉大学やせんげん台駅間
- ・学生で賑わう商店街
- ・ジャズのフェスタや冬季花火大会が開催
- ・学生のボランティア活動



04 久伊豆神社

- ・久伊豆神社での祭りは今では3、4年に1度になったけど、昔は毎年やっていた
- ・スジダイなどの原生林が残る



08 中央市民会館

- ・筑波山のほか、晴れの日には富士山が見える
- ・川の流れの様子もいい景色



09 大吉調節池公園

- ・散歩ができてよい。近くに食事ができる場所もある
- ・島の形状が越谷市とハトの形になっている



12 不動橋

- ・富士山が見えたり、初日の出や花火スポットになっている
- ・5月にはこいのぼりフェスティバルが開催される



02 浄山寺

- ・多くの人で賑わう古寺



05 旧日光街道

- ・蔵造りの家があるよ
- ・ここの古い建物は残すべき
- ・昔の人は買い物に来るとしたら日光街道に来ていた
- ・旧日光街道はすたれていて、蔵とか長屋があるし歩行者専用にしたよ。商工会にかけ合ってみたらどうか...



Whole ー全体図ー

10 屋敷林

- ・屋敷林が多く地域の特徴の一つ、最近ではものすごく少なくなってしまった
- ・古利根川沿いの屋敷林が減少しつつある



13 リュース展望台

- ・周辺の平地を一望することができる
- ・ここからだと屋敷林の様子が見えるかも



03 鴨場

- ・鴨場の前のポプラの木がシンボリック



06 浅間神社・黒堀

- ・樹齢 600 年のけやきの木あるよ
- ・赤ちゃんが育つと言われる
- ・神社の近隣には、黒堀とタブの木が残っているよ。



15 越谷レイクタウン

- ・ウォーキングしている人がある
- ・湖でレイクタウンの印象が変わったね



元荒川沿い

- ・夕焼けがきれいだし、空が広く見える
- ・蛇行する川で橋の見え方が変わるのが良い
- ・元荒川を軸にしたまちづくりをもっとしたい
- ・川沿いを散歩する人が多い



全体

- ・魅力的な拠点は多く存在するが、それを結ぶ道が整備されていない
- ・美しくゴミを出す方法はないだろうか
- ・大木や屋敷林を残したい。助成金や固定資産税の考慮をしたらどうか



- 14 昔は田んぼ
15 レイクタウン
- Check point 1
かつての川の形状
- Check point 2
元荒川下流域ー合流地点まで整備してほしいな

14 田んぼ

- ・昔は全部田んぼで家がなかったんだけど、今は家ができてる
- ・くわいは田んぼの一角でつくる
- ・くわいは名産でワインや茶にもなる
- ・西風が強いからその方向にけやきの木を植えて日よけや風除けにする



：Impressions ー参加者の感想ー

ワークショップ形式で参加者が、越谷の景観まちづくりに向けて様々な意見を言える雰囲気良かった!!

今回の参加者は越谷に対し思い入れが強く、活発な意見の交換があった。一方、具体的、建設的な意見が少なく一歩二歩引いた消極的な姿勢が目立ったかな。

市民のみなさんの年齢層が高く、もう少し若い人たちにも参加してもらって、未来の街並みについて、聞くことができればよかったな。

景観の保護に対して、自然的景観、街並み景観、文化的景観などに分かれた方がいいのではないかな。景観の良し悪しがなぜ起きているのか実態把握をしてもいいと思うよ。

越谷は道路美である認識が必要。

新しいまちレイクタウンの公園について知りたい。

緑豊かな良好な住宅地と住民が自発的に維持管理する、エリアマネジメントが活発なところを目指したい。

あるがままの自然との共生をいかに進めるのか課題が残ります。利便性と伝承とのかねあいです。

旧日光街道に残る町屋、蔵、黒堀は単に古いから価値があるということではなく、歴史は単なる時代の人々の記憶ではなく、当時の人々の「生活思想」を思い起こすことが大事です。

